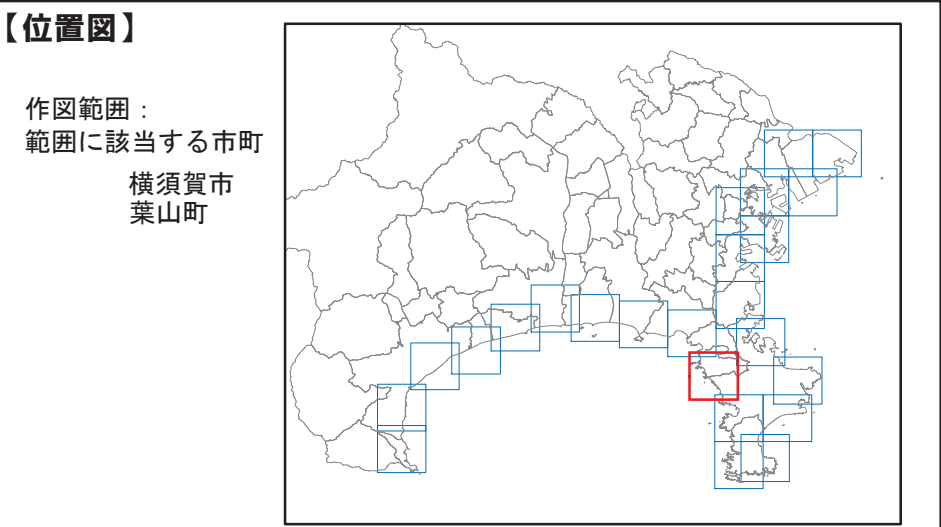
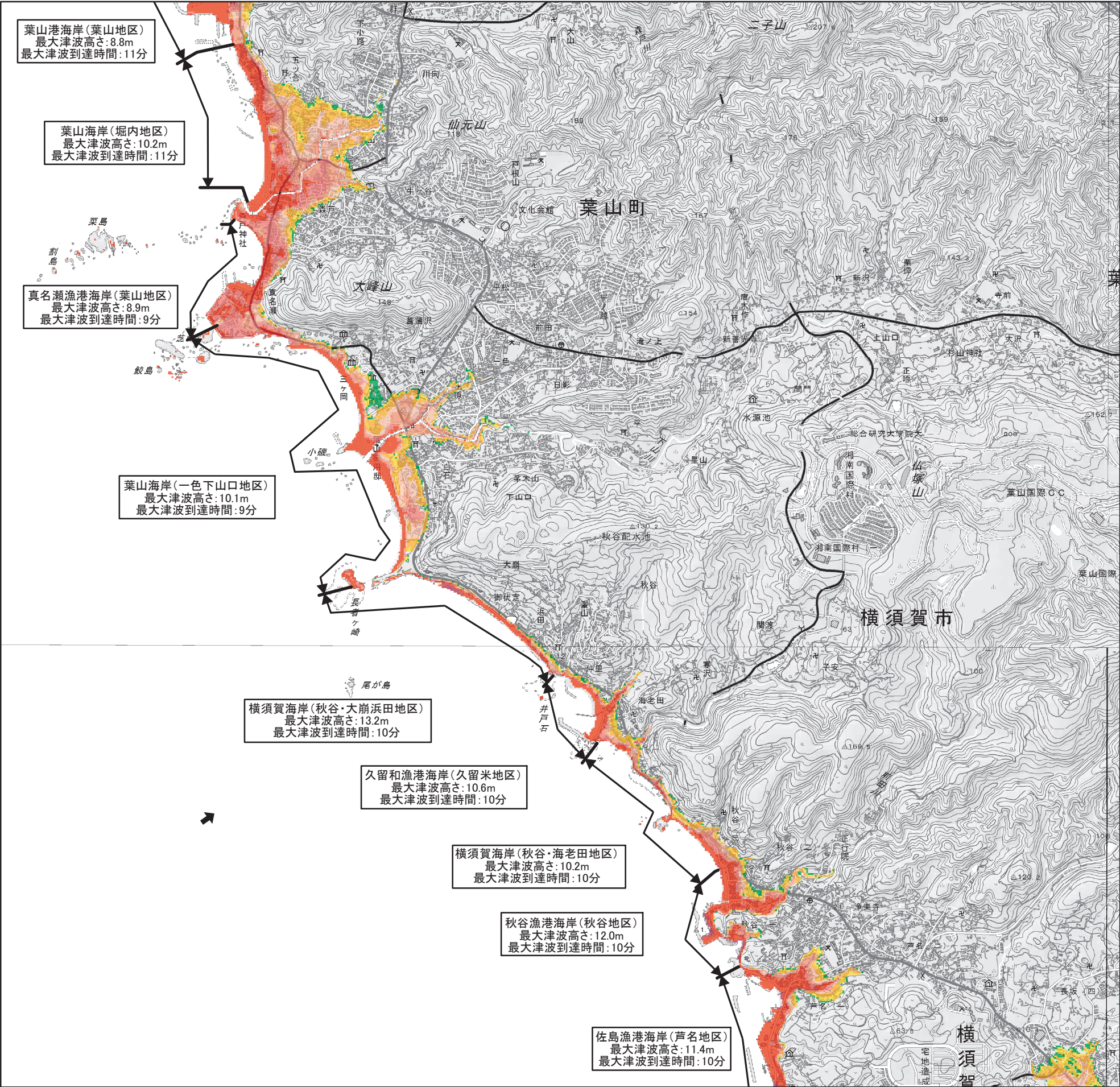


津波浸水予測図(案) 相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)



- 【留意事項】
- 予測にあたっては、浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）が最大となるよう、最も厳しい条件を想定しています。
 - しかしながら、予測計算で再現し切れない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があることなどから、「津波浸水予測図」における浸水域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水予測図」に示した最大の浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降の津波によって生じる場合があります。
 - 「津波浸水予測図」では、河川内については、津波による水位変化を着色していませんが、津波の遡上等に伴い、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

【凡 例】

下記の表示は各区間の最大津波高さ
と、その到達時間を示しています。 ➡：津波が来る方向を
表しています。

なお、この表示は、平成24年3月の「津波浸水予測図」と対比できるよう、同じ箇所に示しています。

